

1. 研究課題名

外来化学療法実施患者におけるカテーテル関連血流感染発生状況の実態調査

2. 研究の目的

外来化学療法件数の増加に伴い、近年皮下埋め込み型中心静脈アクセスポートを用いて化学療法を行う方が増えています。皮下埋め込み型中心静脈アクセスポートは、末梢血管の確保が困難な方に対して有用であるほか、抗癌剤の血管外漏出や投与時の血管痛の減少等の効果も期待できます。一方で中心静脈アクセスポートが感染源となりカテーテル関連血流感染が発生することもあり、当院でもそのような事例が度々起こっています。中心静脈カテーテル感染に関するサーベイランスは多数報告されていますが、中心静脈アクセスポート単独での報告は少なく、特に外来患者さんを対象とした報告は少ないのが現状です。そこで今回、当院で外来化学療法を実施した方におけるカテーテル関連血流感染の発生状況について調査を計画しました。

3. 研究の方法

●対象となる患者さん

2014年10月～2017年9月の期間に当院で皮下埋め込み型中心静脈アクセスポート留置術を行い、かつ、外来で化学療法を実施した方

●研究に用いる試料・情報の種類

生年月日、がん種、がんの Stage、感染の原因菌、皮下埋め込み型中心静脈アクセスポートの抜去の有無、カルテ番号 等

上記カルテ情報を、手稲溪仁会病院薬剤部に集約して解析を行います。いずれのデータも、診療の中で得られた情報であり、この研究のために患者さんに新たな検査を行ったり、経時的負担をかけたりすることはありません。情報の保管は研究責任者が責任を持って行います。

●研究期間

実施許可日～2020年3月31日

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

手稲溪仁会病院 薬剤部 砂土居 寛子（研究責任者）

〒006-8555 札幌市手稲区前田1条12丁目1-40

TEL：011-681-8111 FAX：011-685-2986